

男の隠れ家 別冊

2025年10月吉日

『川本喜八郎の世界 人形とアニメーションの美学』

(2025年10月30日発売)

2025年は人形アニメーション作家・川本喜八郎の生誕100年にして没後15年。

川本喜八郎はNHK人形劇「三国志」「平家物語」で躍動した人形の生みの親として、今も多くのファンを魅了している。また「花折り」から「死者の書」に代表される高い技術と芸術性を備えた人形アニメーションを発表し、絶大な評価を受けた。

生涯とキャリアにおいて、アニメーションに対し顕著な貢献を行ったことが認められた個人に授与される「ウィンザー・マッケイ賞」を、日本人として初めて受賞したのが川本喜八郎で、その後に続くのが手塚治虫・宮崎駿・大友克洋各氏らである。

現在の日本のアニメーションといえば、その大半が平面的な絵を動かすセルアニメと呼ばれるものだが、これに対し川本が挑んでいたのは主にコマ撮り(ストップモーション)アニメであった。それを表現する人形やビジュアルの美しさ、日本人の感性を生かした作品群の製作で多くの後進を育て、また多大な影響を与えている。

人形劇の人形の美しさや芸術性はもちろん、活動の原点でもある川本アニメに焦点を当て、その本来の意味である「生命を与える」にふさわしい作品、製作に傾けた情熱や各界における功績を多くの読者に届けたい。

【巻頭企画】

ご挨拶: 福迫福義氏(有限会社川本プロダクション代表)

巻頭寄稿: 「川本喜八郎の業績、その横顔」

【特集1】人形ビジュアル絵巻

「人形劇 三国志」、「項羽と劉邦」、「人形歴史スペクタクル 平家物語」、「南総里見八犬伝」

【特集2】川本喜八郎 多彩な人形アニメの世界

峰岸裕和氏&細川晋氏による「日本のアニメーションの発展とこれから(仮題)」

※両氏によるコメントを中心に、ひとつひとつの作品解説をおこないます。



- 発売日 : 2025年10月30日(木)
- 発行形態 : 平綴じ/右開き
- 判型 : 120Pフルカラー・A4
- 定価 : 1200円(予価)
- 発行発売 : 株式会社三栄
- オーダー締切 : 10月9日(木)
- 校了日 : 10月16日(木)

※特集内容は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

【お問合せ】株式会社三栄 第二営業企画局 Mail : koukoku@san-ei-corp.co.jp

~この企画に関するより詳しい内容・不明点は各担当者にご連絡下さい。~